

水を抱く女 (2020)

UNDINE

メディア 映画

ジャンル ロマン스 ファンタジー

製作国 ドイツ/フランス

色彩 Color

時間 90分

初公開日 2021/03/26

公開情報 彩プロ

映倫 G

【キャッチコピー】

愛が終わるとき、
哀しき殺意のとき

【解説】

「東ベルリンから来た女」「あの日のように抱きしめて」のクリスティアン・ペッツォルト監督が水の精“ウンディーネ”の物語を現代のベルリンに置き換えて描いたダーク・ファンタジー・ラブストーリー。哀しい宿命を背負ったヒロインが織りなす切ない愛憎の行方をミステリアスかつ幻想的な筆致で綴る。主演はペッツォルト監督の前作「未来を乗り換えた男」に続いての共演となるパウラ・ベアとフランツ・ロゴフスキ。ベルリンの都市開発を研究する歴史家ウンディーネは、恋人から別れを告げられ深い悲しみに暮れていた。そんな彼女の前に潜水作業員のクリストフが現れ、やがて2人は深く愛し合うようになるのだったが…。

【クレジット】

監督	クリスティアン・ペッツォルト	Christian Petzold	
製作	フロリアン・コールナー・フォン・グストルフ ミヒャエル・ヴェバー	Florian Koerner von Gustorf Michael Weber	
脚本	クリスティアン・ペッツォルト	Christian Petzold	
撮影	ハンス・フロム	Hans Fromm	
衣装	カタリーナ・オスト	Katharina Ost	
編集	ベッティナ・ボーラー	Bettina Böhler	
出演	パウラ・ベア	Paula Beer	ウンディーネ
	フランツ・ロゴフスキ	Franz Rogowski	クリストフ
	マリアム・ザリー	Maryam Zaree	モニカ
	ヤコブ・マツェンツ	Jacob Matschenz	ヨハネス
	アネ・ラテ=ポレ	Anne Ratte-Polle	
	ラファエル・シュタホヴィアク	Rafael Stachowiak	